

1 学校教育目標

人間尊重の精神を基調とし、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子どもを育てる

2 めざす学校像

(1) 子どもが意欲的に学び、豊かな人間関係を築く学校

「めざす子ども像」と関わって

(2) 子ども・保護者・地域の期待に応える、開かれた学校

子どもにも、保護者にも、地域にも魅力的である存在

(3) 教職員自ら、創意・工夫を重ねる学校

歴史と伝統を受け継ぎ、さらなる創意・工夫を追求する学校

3 めざす子ども像

(1) よく考える子

.....学校教育目標の知的側面

(2) 思いやりのある子

.....学校教育目標の徳育的側面

(3) たくましい子

.....学校教育目標の体育的側面

4 めざす教職員像

(1) 子どもとともに歩み、共感することのできる教職員

(2) 多様な子どもに対応する教職員

(3) 子どもの手本となる行動がとれる教職員

(礼儀・言葉遣い・挨拶・服装・物や時間の管理など)

(4) 同僚・保護者・地域と協力し合える教職員

(5) 研究・研修し続ける教職員

(6) 状況に柔軟に対応できる教職員

(7) 自らの立場・責任を自覚し、自律的に仕事にあたる教職員

確かな学力

(1) 中期経営目標

「基礎・基本」定着状況調査では、国語科・算数科の平均通過率を市平均通過率以上にし、通過率60%以上の児童の割合も市平均以上にする。全国学力・学習状況調査(A問題・B問題)では、平均正答率を全国平均以上にする。

(2) 短期経営目標

国語科の物語文の学習指導において、単元構成や学習活動の工夫等に焦点を当てて授業改善を図り、読みの力の育成を図る。

(3) 具体的方策

物語文における読みの力を高める授業づくりを計画的に進める。

- ・ **学級担任全員が物語文を対象とした授業を公開し、授業研究を深める。**
 - * **ブロック別の低・中・高学年の公開授業において外部講師を積極的に招請し、継続性のある指導を受け、授業改善を図る。**
- ・ **授業後の研究協議会においては、ワークショップ形式の協議会を通じて協議内容を焦点化し、授業観察力・授業分析力を高める。**
 - * **ワークショップ形式を取り入れることで授業観察力・授業分析力を確かにし、自己の授業改善に生かすようにする。**
 - * **ビデオ視聴によるリフレクションと協議を活性化する。**
- ・ **年間3回の物語文の授業を見通した年間指導計画を立案し、読みの力の向上を意識した学習指導を重ねる。**
 - * **年間3回の物語文の学習で、それぞれの学習で「どのような読みの力」をつけるのかを明確にして指導を重ねる。**
 - * **物語文における学習用語を系統的に定着させる。**

チャレンジタイム(帯タイム)を活用し、国語科学習の基盤となる音読力・漢字力を高める活動を確保する。

チャレンジタイム(帯タイム)を活用し、算数科学習の基盤となる計算を高める活動を確保する。

新学習指導要領の趣旨をふまえ、「習得・活用・探究」のサイクルの問題解決学習を推進する。

前年度の成果を生かして、ひろしま型カリキュラムにおける「言語・数理運用科」「英語科」を適切かつ効果的に実施する。

豊かな人間性の育成

(1) 中期経営目標

知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子どもを育てるために「人間関係能力」を培う教育活動を推進する。

(2) 短期経営目標

「あいさつ100パーセント」の徹底を図り、自主的にあいさつできる児童を育てる。

読書活動を推進し、読書力の向上を図る。

進んで掃除に取り組む子どもを育てる。

異学年交流・幼保小中連携を推進し、豊かな学びを構築する。

(3) 具体的方策

生徒指導部・児童会の計画的かつ工夫した取り組みを構想し、実施する。

- ・ **児童会の自治的な活動を通じてあいさつ運動を推進し、進んであいさつをする意識を高め、実践力を向上させる。**

*** あいさつ標語の募集、ふり返しカードの実践化、あいさつの啓発運動等を推進する。**

- ・ **教職員自らあいさつを実践し、児童の自主的にあいさつをする力を高めるようにする。**

*** あいさつの意義やあいさつの様子などについても登校指導・学級指導・朝会などで話をすることで、児童の意識を高め、実践力を高める**

- ・ **学区内の住民や、学区内を通り登校する生徒達によるあいさつが交わされる環境づくりに努め、児童のあいさつをする力を高める。**

*** 教職員による、地域住民や外来者等への積極的なあいさつを進める。**

*** あいさつ道路を創設し、あいさつ運動を活性化する。**

読書タイムの実施、読書ボランティアによる読み聞かせ、安芸区図書館との連携等を通して、読書活動を充実させる。

全教育活動での道徳教育の推進を図る。

「心のノート」や道徳副読本を活用して、「道徳」の時間を充実させる。

全教職員が子どもとともに清掃活動を進め、指導を重ねる。

授業や児童会活動への参加を中心にして、異学年交流を推進する。

保育園・幼稚園・小学校、また小学校・中学校での連携した研修会・協議会を開催することを通して、小1プロブレム・中1ギャップや学力向上等に対応する。

児童支援委員会を活性化し、配慮を要する児童への支援を全教職員が理解し、協力して支援できる態勢づくりをする。

豊かな情操を育てる学校内掲示、教室掲示に努める。

安芸区民文化センターと連携をもち、音楽活動を積極的に導入する。

「まちぐるみ」による教育の推進

(1) 中期経営目標

地域に開かれた学校をめざし、心の通い合う価値ある教育活動を推進する。

(2) 短期経営目標

地域の教育力を積極的に活用して豊かな教育活動を推進し、地域に開く船越小学校を構築する。

(3) 具体的方策

地域の教育力を活用した授業や行事を全学年で実施し、交流を図る。

- ・ 各教科および総合的な学習の時間等で、ゲストティーチャーとして地域の方を招き、各学年とも年1回以上の「地域の教育力を活用した教育活動（授業）」を推進する。

***ゲストティーチャーを通じて、校内の教職員、書籍やネットなどから学ぶことのできない生きた学習体験を成立させる。**

- ・ 「地域の教育力を活用した教育活動（授業）」において、目標と学習活動を結びつけ、「価値ある学び（目標の明確な学び）」を生み出すようにする。

***学習指導要領（とくに総合的な学習）のねらいと、学習活動と学習内容が結びついた授業づくりを推進する。**

- ・ 「地域の教育力を活用した教育活動（授業）」を通して学んだことを地域に発信することを通じて、双方向の学びを構築する。

***「地域の教育力を活用した教育活動(授業)」で学んだことを再構成し、地域に発信する学習を成立させる。**

地域や公共施設の主催するイベントへ積極的に参加するよう支援する。

学校ホームページを計画に基づいて更新し、学校の様子を伝える。

学校の取り組み、子どもの様子を伝える学校だより・学年だよりを充実する。

学級懇談会を活性化するために、担任と学級役員とが内容・方法等について密接な連携をもつ。

体力の向上

(1) 中期経営目標

知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子どもを育てるための基盤となる体力を向上する教育活動を推進する。

(2) 短期経営目標

運動に意欲的に取り組み、体力を向上させる活動に取り組む。

食育、健康教育を積極的に推進する。

(3) 具体的方策

休憩時間（とくに大休憩）での外遊びを促し、体をつかった遊びに親しむようにする。

*** 体育委員会の活動(長縄大会・リレー大会・ドッジボール大会の企画・運営、遊具の貸し出し)、外遊びアンケートの実施と活用等を通じて、グラウンドでの遊びを進んでさせる。**

体力づくりカードの活用を通して、自己のめあて達成に向けて運動に取り組みさせる。

*** 体力アップハンドブックの活用を通して、自ら運動に親しませる。**

*** 体力アップハンドブック努力賞の受賞の啓発を図る。**

体育科副読本を活用して、体育科の授業内容の充実を図る。

給食指導や、食をテーマとした授業を通して、食生活の重要性を理解させる。